



平成29年3月9日

各位

会社名 21LADY株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井道子
(コード番号:3346 名証セントレックス)
問合せ先 経営管理担当
マネージング・ディレクター 辻井 彰彦
電話番号 03(3556)2121

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,000	百万円 25	百万円 12	百万円 3	円 銭 0.46
今回修正予想(B)	2,721	25	19	Δ5	Δ0.91
増減額(B-A)	Δ278	—	7	Δ8	
増減率(%)	Δ9.3	—	59.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	2,985	Δ86	Δ101	Δ88	Δ14.86

修正の理由

連結子会社である株式会社洋菓子のヒロタにおきましては、国際事業部門を中心に売上拡大が計画を大きく下回り、株式会社イルムスジャパンにおきましては、直営店での売上が計画を下回ったことにより、売上が減少しました。しかしながら、株式会社洋菓子のヒロタにおいての不採算直営店舗の退店、製造原価、販売管理費の圧縮により収益性が高まり、営業利益は前回予想のとおりとなり、経常利益は株式会社イルムスジャパンにおいて当初計画していた店舗退店に付随する費用が、発生しなかったことにより、上方修正となりました。また、平成28年11月10日付『減損損失(特別損失)の計上に関するお知らせ』で開示しましたとおり、減損損失(特別損失)を15百万円計上し、第4四半期以降の売上高も当初の業績予想を下回ることから、売上高及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上